

令和元年（2019）8月5日
トラスコ中山株式会社
証券コード 9830
（苦は去れと覚えておいてください）

トラスコ中山株式会社

令和元年（2019）12月期
－第57期－
第2四半期 決算説明会

令和元年（2019）5月15日（水）
おかげさまで創業60周年を迎えました。

令和元年（2019）12月期－第57期－第2四半期 決算ダイジェスト

親単体の売上高 4.3%増加、四半期純利益 1.1%増加、増収・増益だが計画値は下回る

令和元年(2019)12月期 -第57期- 第2四半期 経営成績 (営業日数△4日／一日当たり売上高前年同期比+7.9%)

	【連結】			【親単体】								
	2019年12月期 第2四半期			前期第2四半期実績		2019年12月期 第2四半期						
	実績	率	前年同期比	実績	率	実績	率	前年増加額	前年同期比	予算	予算差額	予算比
売上高	1,095億66百万円	—	—	1,048億77百万円	—	1,093億96百万円	—	+45億19百万円	+ 4.3	1,127億円	△33億03百万円	△2.9%
売上総利益	237億37百万円	21.7%	—	227億21百万円	21.7%	236億22百万円	21.6%	+9億01百万円	+ 4.0	243億39百万円	△7億16百万円	△2.9%
販売費及び一般管理費	167億76百万円	15.3%	—	157億53百万円	15.0%	166億37百万円	15.2%	+8億84百万円	+ 5.6	168億90百万円	△2億52百万円	△1.5%
営業利益	69億60百万円	6.4%	—	69億68百万円	6.4%	69億84百万円	6.4%	+16百万円	+ 0.2	74億48百万円	△4億64百万円	△6.2%
経常利益	71億02百万円	6.5%	—	70億89百万円	6.8%	71億21百万円	6.5%	+32百万円	+ 0.4	75億83百万円	△4億62百万円	△6.1%
四半期純利益	48億07百万円	4.4%	—	47億78百万円	4.6%	48億31百万円	4.4%	+53百万円	+ 1.1	51億57百万円	△3億25百万円	△6.3%
1株当たり四半期純利益	72円90銭	—	—	72円46銭	—	73円27銭	—	+81銭	—	78円20銭	△4円93銭	—
1株当たり中間配当金	18円50銭	—	—	18円50銭	—	—	—	—	—	—	—	—
PB売上高	—	—	—	215億83百万円	—	222億31百万円	20.3%	+6億48百万円	+ 3.0	230億円	△7億68百万円	△3.3%
設備投資額※	114億08百万円	—	—	88億79百万円	—	107億90百万円	—	+19億11百万円	—	—	—	—

セグメント別実績

	【連結】			【親単体】									
	2019年12月期 第2四半期			前期 第2四半期実績		2019年12月期 第2四半期							
	売上高		売上総利益	売上高		売上高					売上総利益		
実績	前年同期比	率	実績	率	実績	前年増加額	前年同期比	予算	予算差額	予算比	率	前年同期比	
ファクトリールート	851億11百万円	—	21.3%	832億71百万円	21.3%	851億04百万円	18億33百万円	+ 2.2	879億26百万円	△28億21百万円	△3.2%	21.3%	△0.1 pt
eビジネスルート	167億88百万円	—	25.1%	147億42百万円	25.3%	167億88百万円	20億46百万円	+ 13.9	170億93百万円	△3億04百万円	△1.8%	25.1%	△0.2 pt
ホームセンタールート	69億69百万円	—	17.5%	64億26百万円	17.9%	69億69百万円	5億43百万円	+ 8.4	70億90百万円	△1億20百万円	△1.7%	17.5%	△0.4 pt
海外ルート	6億97百万円	—	31.5%	4億37百万円	20.1%	5億34百万円	97百万円	+ 22.1	5億91百万円	△56百万円	△9.5%	19.8%	△0.5 pt
全社合計	1,095億66百万円	—	21.7%	1,048億77百万円	21.7%	1,093億96百万円	45億19百万円	+ 4.3	1,127億円	△33億03百万円	△2.9%	21.6%	△0.1 pt

海外子会社実績

	トラスコナカヤマ タイランド			トラスコナカヤマ インドネシア		
	金額	率	前年同期比	金額	率	前年同期比
売上高	3億76百万円	—	+19.5%	1億09百万円	—	△10.5%
売上総利益	92百万円	24.6%	+32.5%	29百万円	26.8%	△3.2%
販売費及び一般管理費	67百万円	18.0%	+12.7%	70百万円	—	+40.2%
営業利益	25百万円	6.7%	+151.6%	△41百万円	—	—
経常利益	25百万円	6.8%	+145.5%	△43百万円	—	—
四半期純利益	25百万円	6.8%	+145.5%	△43百万円	—	—

日本円換算レート:タイランド1バーツ=3.51円、インドネシア1ルピア=0.0076円

連結決算開始について

トラスコナカヤマ タイランド、トラスコナカヤマ インドネシアとの連結決算を開始いたしました。今期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値等との比較は記載しておりません。海外ルートには、海外子会社、海外販売課の売上を含んでおります。

売上高【親単体】 1,093億96百万円（前年同期比+4.3% / 45億18百万円）（）前年同期比

- ①ファクトリールート 851億04百万円（+2.2%/+18.3億円） 【予算比△3.2% / △28.2億円】
 保護具 68億62百万円（+8.5%）、冷暖房用品 18億02百万円（+46.0%）、スチール棚 16億44百万円（△5.4%）
- ②eビジネスルート 167億88百万円（+13.9%/+20.4億円） 【予算比△1.8% / △3.0億円】
- ┌ 通販企業向け 127億86百万円（+14.3%/+16.0億円） 【予算比△1.7% / △2.1億円】
- └ MROサプライ ※ 40億02百万円（+12.5%/+4.4億円） 【予算比△2.1% / △0.8億円】
- ※大手ユーザー企業の購買担当者様を中心に利用されている電子購買向けの販売です。
- ③ホームセンタールート 69億69百万円（+8.4%/+5.4億円） 【予算比△1.7% / △1.2億円】
 プロショップへの売上高 10.3億円（前年同期比+14.2%/+1.2億円）
- ④海外ルート 5億34百万円（+22.1%/+0.9億円） 【予算比△9.5%/△0.5億円】

売上総利益【親単体】 売上総利益率 21.6% / 前年同期比△0.1ポイント（）前年同期比

NB商品粗利率:18.0%(±0ポイント)、PB商品粗利率 35.6%(△0.1ポイント)

PB商品売上高構成比が前年同期比0.3ポイント低下したことが要因と考えられます。

販売費及び一般管理費【親単体】

166億37百万円 / 前年同期比+5.6%(約8億84百万円増加、主な内訳は下記) ()前年同期比

(1) 運賃荷造費 30億42百万円(+13.6%/+3.6億円)

- ①売上拡大等により路線便の出荷個数が12.7%増加(約+198百万円)
- ②路線便の運賃値上による影響(約+165百万円)
- ③備車(契約配達便)の減便(△35百万円)
台数 236台(△30台)※社内間輸送便 41台含む【参考】自社社員配達便 92台(+12台)

(2) 減価償却費 22億66百万円(+46.2%/+7.1億円)

- ①物流センター「プラネット埼玉」建物、電気照明設備、物流機器など(+298百万円)
- ②商品検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」リプレイス(+212百万円)
- ③物流センター「プラネット東海」物流機器(+98百万円)

(3) 支払手数料 9億13百万円(+17.3%/+1.3億円)

- ①システム関連保守点検費(+95百万円) ②社内PC関連費用(+49百万円)
- ③物流設備関連保守点検費(+14百万円)

(4) 賞与引当金繰入額 2億95百万円(△41.2%/△2.0億円)

- ・業績連動型賞与を支給前提で積み立てていましたが、条件未達のため支給が無くなり前期12月に取り崩した影響。(△169百万円) 通期での影響はございません。

(5) 消耗品費 2億57百万円(△44.5%/△2.0億円)

- ・前期は物流センター「プラネット埼玉」の備品費用が発生していた影響(△169百万円)

(6) 租税公課 5億66百万円(△15.1%/△1.0億円)

- ・昨年度取得した物流センター「プラネット埼玉」建物見積不動産取得税分の減少(△186百万円)

(参考) 給与及び賞与 58億85百万円(+0.6%/+0.3億円)

- ①従業員数 社員 1,654名(+30名)、パートタイマー 1,119名(+10名)
- ②達成報奨金の当期支給が無い影響(△116百万円)

MEMO

	【連結】					【親単体】		
	当初予想	率	修正後予想	率	当初予算からの増減額	修正後予想	率	前年比
売上高	2,332 億 94 百万円	-	2,258 億 94 百万円	-	△74 億円	2,256 億円	-	+5.3%
売上総利益	495 億 23 百万円	21.2%	481 億 72 百万円	21.3%	△13 億 51 百万円	479 億 50 百万円	21.3%	+5.4%
販売費及び一般管理費	345 億 94 百万円	14.8%	339 億 93 百万円	15.0%	△6 億 01 百万円	337 億円	14.9%	+8.3%
営業利益	149 億 29 百万円	6.4%	141 億 78 百万円	6.3%	△7 億 51 百万円	142 億 50 百万円	6.3%	△0.8%
経常利益	151 億 79 百万円	6.5%	144 億 28 百万円	6.4%	△7 億 51 百万円	145 億円	6.4%	△1.0%
当期純利益	102 億 54 百万円	4.4%	97 億 03 百万円	4.3%	△5 億 51 百万円	97 億 50 百万円	4.3%	+0.3%
1株当たり当期純利益	155 円 49 銭	-	147 円 14 銭	-	△8 円 35 銭	147 円 85 銭	-	+41 銭
1株当たり配当金	39 円	-	37 円	-	△2 円	-	-	-

業績予想の修正について

国内の製造業を中心としたモノづくり現場において生産活動が減速している中、売上高及び売上総利益は、期首の業績見込みを下回るペースで推移しています。当第3四半期及び第4四半期会計期間(令和元年7月1日～12月31日)についても、売上高の大幅な拡大が望めず、販売費及び一般管理費に関しても、大幅に減少することは想定されないため、業績予想と配当予想の修正を行いました。

海外現地法人の業績(トラスコナカヤマ タイランド・トラスコナカヤマ インドネシア)

令和元年(2019)12月期 予算

単位:百万円

	通 期 予 算(日本円換算レート:タイランド1パーツ=3.5円、インドネシア1ルピア=0.0076円)					
	売上高	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業利益	経常利益	当期純利益
タイランド	700	165	150	14	14	10
インドネシア	309	80	144	△63	△63	△63

- ①トラスコナカヤマ タイランド今期創業10年目となり、順調に売上高の拡大を続け今期より黒字化を計画しています。
- ②トラスコナカヤマ インドネシアは今期創業6年目となり、3月に新社屋が完成し移転いたしました。新社屋完成による減価償却費の増加もありますが、拡大した倉庫への在庫拡充を進め、お客様の利便性を向上させ黒字化を目指してまいります。

ご報告と今後の取り組みについて

1、解決すべき課題

従来と違う仕組みや方法を構築すれば何とかなるかもしれないが、根性と勇気と努力をいくら振り絞っても不景気の前には太刀打ちできません。そのためできるとすれば、経費を削減していくしかありません。

(1) 配送体制の減便

国内約 300 台の配送車両の運行が適切に行われているか再度検証。

(2) 社内間配送便の減便及び中止

物流センターから社内間物流のための配送車両の運行が適切に行われているか再度検証し、減便又は中止をする。

(3) 各部署の適正人員の見直し

組織変更とともに、各部署の人員配置の見直しを行い、効率化と増員の抑制を行う。

(4) 設備投資を必要限に絞り込む

急激な景気減速に備えて、設備投資は必要最小限から必要限にとどめる。

(5) 物流業務省力化、自動化を進める

物流人員の求人難、賃金の上昇に対応するため、また、物流業務のスピード化のために、物流機器投資を行う。

(6) ユーザー直送体制の確立を急ぐ

物流コスト、時間短縮のための要求は更に加速するものと思われる。

ネット、リアル、どちらもユーザー直送ニーズは拡大するものと思われるので、そのための物流機器の投資を行う。

(7) あらゆるコストの削減

売上の確実な実行は難しいが、経費削減については確実な実行が可能である。徹底した経費の削減に努める。

MEMO

2、9月1日付、組織変更等のお知らせ

経営戦略推進のスピード化と、経営環境変化に機動的に対応するため、主に物流部、営業部の組織改編を実施いたします。

(1) 物流本部と営業本部の担当部長を兼任へ

より総合的な経営判断を迅速かつ的確に実施するために、営業本部と物流本部の各地域の担当部長を兼任とし、物流・営業面を統括して戦略を立案する組織体制にします。

(2) 通販及びMROサプライをeビジネス営業部に統合

変化の早いEC市場の情報共有を円滑にし、動向に即した営業活動を強化するため、eビジネス営業部通販とeビジネス営業部MROサプライを、eビジネス営業部に統合します。

(3) 支店・部署の統合

若手社員・ベテラン社員など多様な人材が集まることにより、お客様のご要望に迅速かつ的確に対応することが可能となり、さらなる営業活動や事業所運営の強化につなげるため、事業所の統合を行います。

No	変更内容	《変更前》	《変更後》
1	分割統合	熊谷支店	伊勢崎・大宮支店に分割統合
2		小山支店 ※	幸手・宇都宮支店に分割統合
3		板橋支店	東京・城南、松戸・大宮支店に分割統合
4	統合	江戸川支店	松戸支店に統合
5	統合	監査役室	監査指導室に統合
6	統合・名称変更	大阪総務課、法務課	大阪管理課に統合
7	統合	トラスコ オレンジブック AI 課	トラスコ オレンジブック.Com 課に統合
8	統合	支店サポート課	販売企画課に統合
9	移管	お客様相談室	大阪商品部へ管轄を移管

※令和元年(2019)10月1日より

3、役員報酬の減額について

令和元年(2019)12月期の業績予想及び配当予想の下方修正を8月1日付で公表いたしました。その要因の一つは経営の改革が遅れたことであると真摯に受け止め、役員報酬の10%減額を決定しました。

(1) 報酬の減額内容

代表取締役社長：固定報酬(月次定額報酬)の10%を減額

専務取締役：固定報酬(月次定額報酬)の10%を減額

常務取締役：固定報酬(月次定額報酬)の10%を減額

(2) 対象期間：令和元年9月～令和元年12月まで(4か月間)

4、進行中の取り組みについて

(1) 各物流センターの設備投資の状況

	センター名称 (総投資金額)	投資内容	導入後の最大能力	稼働(予定)時期
1	プラネット東海 (12億49百万円)	バケット自動倉庫、SAS、GAS	在庫 349,400 アイテム → 380,000 アイテム	2019年2月稼働
2	プラネット東関東 (8億91百万円)	SAS、GAS	出荷 16,700 件 → 50,000 件	2019年5月稼働
3	プラネット北関東 (13億68百万円)	【増築】 敷地面積: 10,000 坪 延床面積: 7,695 坪 (増築面積 2,993 坪)	在庫 136,800 アイテム → 300,000 アイテム	2019年7月稼働
		パレット自動倉庫		
4	プラネット神戸 (8億64百万円)	バケット自動倉庫、SAS、GAS、電動パレットラック等	在庫 140,700 アイテム → 300,000 アイテム	2019年8月予定
5	プラネット滋賀 (2億63百万円)	バケット自動倉庫、電動パレットラック	在庫 150,800 アイテム → 300,000 アイテム	2019年9月予定
6	プラネット埼玉 (10億69百万円)	パトラー、オートストア	在庫 351,100 アイテム → 500,000 アイテム	2019年10月予定
7	プラネット東北 (52億49百万円)	【増築】 敷地面積: 3,905 坪 延床面積: 8,587 坪 (増築面積 5,356 坪)	在庫 102,200 アイテム → 400,000 アイテム	2020年5月予定
		バケット自動倉庫、SAS、GAS、オートストア、I-Pack、BOD、パトラー、パレットラック等		
8	プラネット南関東 (111億25百万円)	【建替え】 敷地面積: 3,662 坪 延床面積: 7,885 坪 バケット自動倉庫、SAS、オートストア、ケースCV、電動パレットラック等	在庫 104,000 アイテム → 400,000 アイテム	2020年8月予定

(2) 令和2年(2020)1月稼働予定の新システムについて

売上高 3,000 億円、在庫 50 万アイテムを見据え、それに対応できるシステム基盤を構築する為、日本アイ・ビー・エム株式会社様、SAP ジャパン株式会社様とともに基幹システム「パラダイス」のリプレースを進めています。

SAP S/4HANA®を導入し、令和2年(2020)1月から新しいシステムが稼働予定です。

<新システムによって実現できること>

①見積自動化

1日5万行、年間1,000万行を超える見積り行数の内、20%を自動化していく予定です。

リプレイスされたパラダイスとAIの活用により、価格登録の最適化を進め、自動/半自動でお客様へ回答することで、より迅速な対応とサービスレベルの向上を実現します。

②価格の適正化

過去の見積実績・受注実績の統計などに基づき、適正な商品価格を自動で算出し、特価登録を自動で更新していきます。価格の検証・登録変更をタイムリーに行うことで、お客様に常に適正価格をご提供できるようにし、また特価登録(顧客ごとの登録価格)に関わる社内工数を低減します。

③MROスタッカー(家庭用置き薬の工具版サービス)

将来的には注文、決済、在庫管理などの作業を、スマートフォンで簡単に行える仕組みや、膨大な顧客データや天候データを分析し、現場に最適化された商材の提供を可能とする予定です。

(3)在庫商品の拡大について

■前期末在庫 370億円 ⇒ 今期第2四半期在庫 407億円(+37億円/10%)

売れ筋在庫の偏在解消に向け、5月より各物流センターにおいて在庫アイテムの適正化を進めています。

過剰在庫を見直し、各地域の物流センターで売れ筋在庫を積み増しすることで、物流センター間の横持ち運賃を低減するとともに、お客様への利便性向上を図ってまいります。

MEMO

「がんばれ!!日本のモノづくり」®



【発行責任者】トラスコ中山株式会社 執行役員 経営企画部長 兼 経理部長 今川 裕章
【本件問い合わせ先】経営企画部 経営企画・広報 IR 課 課長 片桐 武志 / 吉見 今日子 / 齋藤 杏奈
TEL: 03-3433-9840 / MAIL: info@trusco.co.jp